2021年度通常公募 団体情報シート								
団体名	地域創造基金さなぶり		団体web サイトURL	www.sanaburifund.org				
	中間事業名 女性の活躍が災害の困難を軽減する地域創り 3.11を教訓に次の災害に備える女性リーダー育成と活動支援 優先すべき社会の諸課題選択科目		中間受付費号	21219				
主題	≢■ 女性の活躍が災害の困難を軽減する地域創り		中勝事業の分類①	④災害支援事業				
		1 マミーゼ		中勝事業の分類②	「防災・減災支援に向けたNPO等の各種団体の活動の推進」			
副艦	3.11を教訓に次の災害に備える女性リーダー育成と沽動文援 			中間事業の分類③	「災害復旧・生活再建支援に向けたNPO等の各種団体の活動の推進」			
優先すべき社会の諸課題選択科目								
	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	領域②	3)地域社会にお	おける活力の低下	その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動			
分野①			分野②					
⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援		⑥ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援						
-		-	-					
-	-							
領域③	未記入	領域④	-					
分野③		分野④	•					
-		-						

申請事業概要
本事業では3年間にわたる継続的な事業実施及び伴走支援を通じ、3.11+10年の間東北で民間事業を助成・支援してきた財団だからこそ可能な、防災・減災分野での変化の創出を図る。
具体的には当該分野に「欠性の視点」を確実に反映させるべく、女性の防災・減災リーダー育成事業を展開し、3年後には標準モデル化を目前す。
従来の防災・減災活動的教唆後から遊襲所需要書までの時間軸で行われることが多いが、本事業では復興計画の策定段階まで、より長い適のりを視野に置く。多様性に配慮し、しなやかな「連携と受援」と「復興」を推進できる地域の女性リーダーの育成とその活躍を後押しする。
座学だけではなく実地研修・所属地域における大小の防災・減災活動の実践、その後のフォローアップ(女性リーダー同士の経験共有、活動支援)を行うほか、女性に限らず男性も含めた地域全体に対し、気づき・学びの機会を提供することで、地域の防災・減災体制の底上げを図る。

		団体組織情報				
	●设立・法人取得年月日					
1	設立年月日	2011年6月20日				
	法人格取得年月日	2014年7月1日				
2	団体概要	地域の課題解決のための寄付等の資金調達、資金提供+/ウハウ提供等を実施するコミュニティ財団、2011年の東日本大震災を契機に全国324人の市民によって設立。当初は岩手、宮城、福島+県外避難者支援事業を対象とする助成事業を実施。発災5年を契機に、自然災害からの復興から、地域課題の解決支援をより強化。熊本地震やコロナ楠では、緊急支援として活動地域を全国に広げ、助成実施や団体支援を行った。				
	●代表者情報					
	代表者名	大滝 精一				
3	代表者の役職	理事長				
	代表者名 2					
	代表者の役職 2	-				
	●役員					
4	役員の人数	22人				
,	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	2Д				
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	1人				
	●事務局職員					
	職員・従業員合計	5人				
		以下、職員・従業員の内訳				
	常勤・有給・有期	3Д				
5	常勤・有給・無期	1Д				
	常勤・無給(有期・無期)	0Д				
	非常動・有給・有期	1Д				
	非常動・有給・無期	0A				
	非常勤・無給(有期・無期)	0人				
6	●資金管理体制					
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	はい				
	●区分経理・帳簿					
7	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい				
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい				
8	●監査					
- ŭ	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施				

	助成実績						
1	前年度の助成件数 (件)	30					
2	前年度の助成総額(円)	未配入					
3	助成事業の実績内容 ◆2016年熊本地震・ジャパンプラットフォーム委託事業「地元主導の生活再建を支える人材育成」集合研修多9の針126コマ(総論、テーマ編、スキル編)を約3週間かけて実施し、延べで349人の参加を得る事業の言、実施を行う、研修の後に神戸、新潟、東北において実地研修を行うべく85万円の助成公募を熊本県内の復興支援団体を対象に行い23団体を助成。学びあいの研修を2回、企画実施している。 ◆2020年「47都道府県「新型コロナウィルス対策」地元基金」を主催し、47道府県のうち16地域は各地のコミュニティ財団を経由しての助成をサポートし、それ以外の31都府県については直営で助成事業を実施しる。NPO向け総観280万円の寄付を受領、医療機関向は11億9,900万円を受領、全地の医療機関等への助成を行っている。 その他助成事業実施・◆平成23年~28年度:セーブ・ザ・チルドレンジャパン「こども立はぐくみファンド」・参手県、宮城県、福島県・子ども支援(4.7億円/133団体の支援:30万円〜500万円/単年度・複数年度 成先への個別支援・集合研修)◆平成25年を、きず、対し、サール・アンダースススプロジェクト」(2.9億円/65団体の支援:500万円〜1000万円)◆平成29年度:宮城県 塩金市・Shiogamaこどもプスペースづくり支援プログラム 再契約事業者:助成事業担当(2か年・400万円)◆令和元年 東北CBLEAP基金(700万円/3団体の支援:250万円)◆休眠預金事業・緊急コロナ枠2020年岩手県・宮城県(計6万円)						

誓約確認等		
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり